



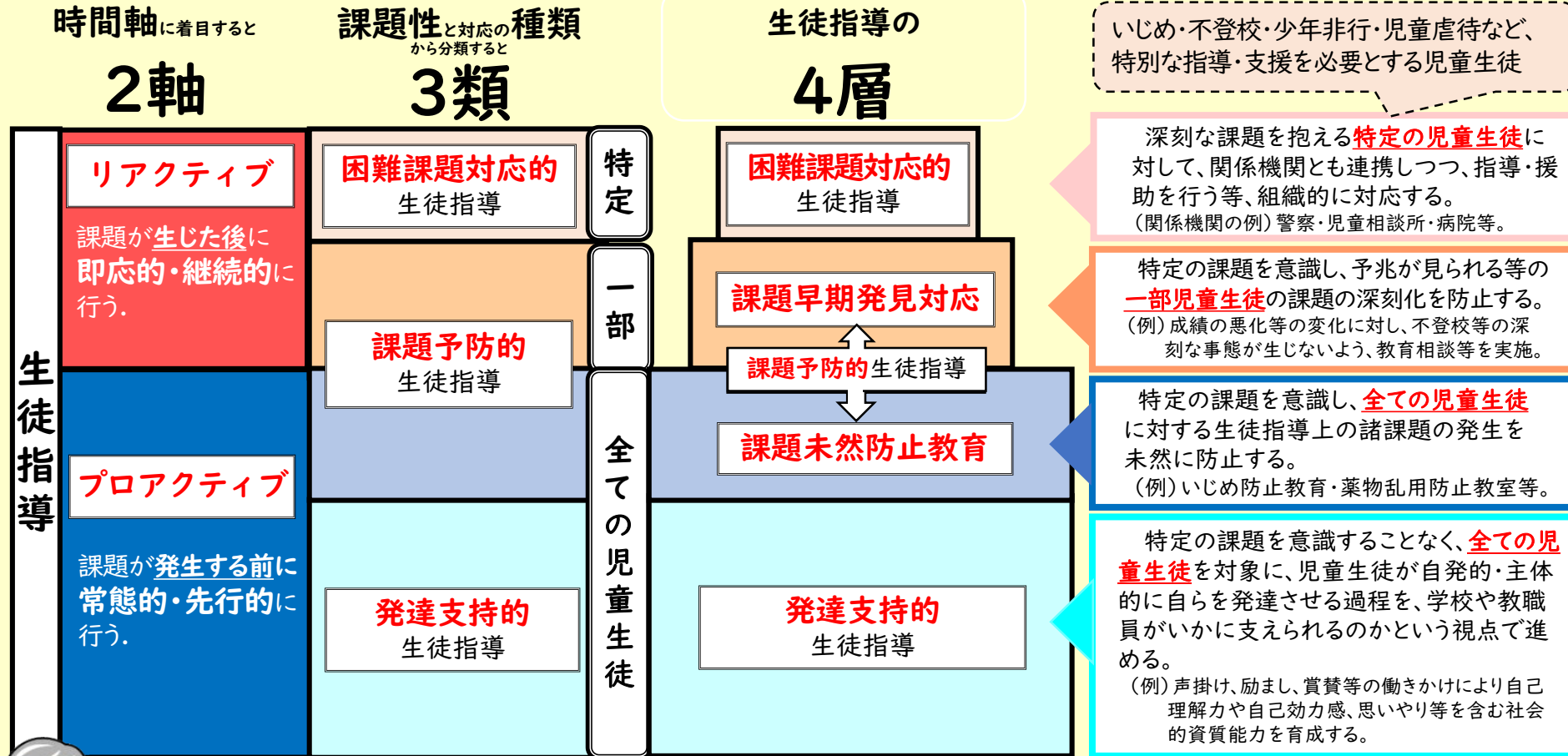
生徒指導の構造「2軸3類4層」を用いて共通理解を図る！



生徒指導提要改訂版では、生徒指導を組織的・計画的に実践するためのモデルとして、**2軸3類4層から成る重層的支援構造モデル**が提示されています。このモデルは生徒指導の構造を視覚的に捉えやすいため、教員間の共通認識の形成に役立つことが期待されます。

この図を基に、発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導（課題未然防止教育）の充実が生徒指導上の諸課題の未然防止や再発防止につながることを捉え、先手型の常態的・先行的（プロアクティブ）生徒指導の必要性について共通理解を図ることが大切です。

重層的支援構造モデル



児童生徒が自発的・主体的に成長や発達をしていく過程を支えるために、日常の生徒指導を基盤とし、課題を未然に防止するための教育活動を組織的・計画的に行う「積極的な生徒指導」を意識していきましょう。

